

第1回

青森県立中央病院

# スキルアップ研修会

## 「青森地域での災害を想定して備えること」

災害医療とは何か、ひとりひとり認識のずれがあり、対応の遅れや混乱が生じます。DMATや救急がメインだと誤解していないでしょうか。地域の医療が崩壊しているのに、救急患者が多く来院していないだけで「医療ニーズはない」と答えてしまうことを何度も見てきました。来院できないほど酷いということはないでしょうか。東日本大震災や熊本地震、能登半島地震を思い浮かべてみましょう。道路や建物の損壊、ライフラインの途絶により、診療の継続が困難ということがメインでした。北海道胆振東部地震での停電、近年の豪雨災害での断水、コロナ禍での職員の不足。これら医療機関だけに起こる問題ではありません。福祉の分野、保健の分野、その他の行政、すべての分野に影響を及ぼすことから、どんな職種であれ自分のこととして取り組まないと、被災者を救うことはできません。他の分野との連携の課題など考えてみませんか。

日時

2024年5月21日(火)

18:30~20:00

参加  
無料

会場

(受付時間 17:30から) ※ Web開催はありません。

県民福祉プラザ 4階 大研修室

※ 青森市中央三丁目20-30

講師

青森県立中央病院  
災害医療管理監

小笠原 賢



座長

青森県立中央病院  
副院長

的場 元弘



お申込みについては、裏面をご覧ください。

締切日 5月20日(月)

# 「青森地域での災害を想定して備えること」

## 講師 紹介

**小笠原 賢**（おがさわら まさる）青森県立中央病院 災害医療管理監

東日本大震災での支援活動の経験を社会に還元するため、NPO法人災害医療ACT研究所を設立し、毎週全国の都道府県庁からの依頼があり災害医療研修を実施している。また、社会医学系指導医、厚労省DMAT養成インストラクター、災害医療コーディネーターインストラクター、原子力規制庁認定原子力被ばく医療研修講師として、医療関係者から行政職員まで多様な職種の人材に対して災害分野の専門家になるための研修会で講師を担当している。

自分自身も統括DMAT、厚労省DMAT上級ロジスティクス専門家として、毎年全国各地の災害現場へ出動しており、今年の能登半島地震でも20日間ほど石川県で支援活動を行った。

青森県では、県災害医療対策特別顧問、災害時の各分野を統合する県災害医療コーディネーターとして、平時の備えや災害対応の運営に関わっている。

青森県立中央病院 災害医療管理監 血液浄化療法部部长 専門分野：ロボット手術

## 申込み 方法

下記のQRコードを読み取るか、URLにアクセスし、専用フォームからお申込みください。

また、当院のホームページからもお申込みいただけます。



<https://forms.gle/mimcEUyuuBviBGtG9>

**申込締切日** >>> **5月20日(月)**

## ご案内

〈マスク着用のお願い〉

マスクの着用をお願いしています。

ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈駐車場ご利用案内〉

県民福祉プラザの駐車場をご利用ください。

【お問い合わせ】

医療連携部 企画グループ（担当 比嘉） TEL：080-4154-2848